



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第107号(2013年1月07日)



【エジプトの新憲法案の承認】

大規模なデモが相次ぎ、また、同国が中東のイスラム諸国の中で唯一イスラエルと平和条約を結んでいることから、イスラエル情勢の観点でも注目を浴びているエジプトの政治的な情勢が一步前に進みました。

物議をかもした新憲法案の国民投票の第2回目が22日に行われ、約64%の賛成により、新憲法案が承認されることが確定しました。尚、投票率は約33%でした。

イスラム教以外の宗教、たとえばキリスト教の信者や、イスラム教徒ではあるものの、より穏やかな体制を望む人々による新憲法案への反対活動が相次ぎ、今回も国民投票の結果が確定する前に、既に反対勢力からは大規模な不正があったと指摘がされています。

大統領候補の一人であった、ノーベル平和賞受賞者のエルバラダイ氏はPBS Newshourとのインタビューの中で「個人的にはエジプトにとって本当に悲しい日」と語っています。同氏は新憲法案については「基本的な人権、たとえば宗教の自由、表現の自由、司法権の独立などが侵害されている」と厳しく非難しています。

64%という賛成票の数値についても、前回ムバラク前大統領退陣後に行った憲法の修正では77%の賛成票を勝ち取っていることなどから、モルシ大統領にとっては期待に届かなかったとされています。

相次ぐデモなどの騒乱を理由として格付け機関による格下げもあり、政治、経済情勢の安定化が強く望まれます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【サウジアラビアのジュエラーが店舗を拡大中】

最近先進国のブランドだけではなく中国など途上国におけるブランドも成長を遂げているようですが、中東においてもサウジアラビアのL' Azurdeが約2,700万ドルを投資して湾岸諸国における店舗網を拡充することを発表しています。現在湾岸諸国内に10店舗ありますが、今後3年間で30店舗まで伸ばすことを計画しているそうです。

L' Azurdeは1980年にできたブランドで、最近3年間の間は売上が年間30%以上伸びています。今回の拡張を通じて、サウジアラビア国内では40%の市場シェアを狙うとしています。現在は10店舗のうち9店舗はサウジアラビアに、残り1店舗はアラブ首長国連邦にあります。

【オマーンもイスラム金融の仕組みを導入】

オマーンは昨年、同国においてもイスラム金融の仕組みを導入することを発表しています。湾岸諸国6カ国の中では、イスラム金融を導入する最後の国となりました。実際のビジネスとしては来年にも動き出すと見られています。

最近、実際にどういったルールで運用されるのかについて、同国の中央銀行から発表がありました。内容としては、他の国よりも若干厳しいルールになっているようです。銀行の流動性の管理、シャリアの学者による会議体の管理、伝統的な銀行におけるイスラム金融の窓口の業務など多岐に亘ります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アブダビとドバイとで、不動産業界では明暗】

不動産総合サービスを手がけるJones Lang LaSalle社のレポートによれば、ドバイでは特にここ半年の間に投資家、開発業者の間で不動産市況の回復への確信が高まってきています。一方でアブダビでは、巨大なプロジェクトが完成に至るにつれて、供給が増したことにより短期的には供給過剰になっています。

当該レポートによれば、いわゆるMENAと呼ばれる地域の不動産投資家にとってドバイは有望な投資対象先として勃興しているとのこと。また、直前の不動産危機から得られた教訓についても学んでおり、特に、多数のプロジェクトを短期に進めるのではなく、長期的に調和のとれた形で開発を進めることの重要性についても認識されているとのこと。Jones Lang LaSalleのMENA地域の責任者によれば2012年には最高のクオリティ、ロケーション、開発業者による選別的な物件についての回復が見られましたが、2013年にはより幅広い領域での市況の回復が見られるだろうと予測されています。

一方でアブダビでは、価格競争が激しくなり、空室率も更に上昇すると予測されています。需要を増やして空室率を抑えるためには雇用を拡大する必要があると同レポートでは予測していますが、そのためにはアブダビ政府の財政支出が必要だと見られています。

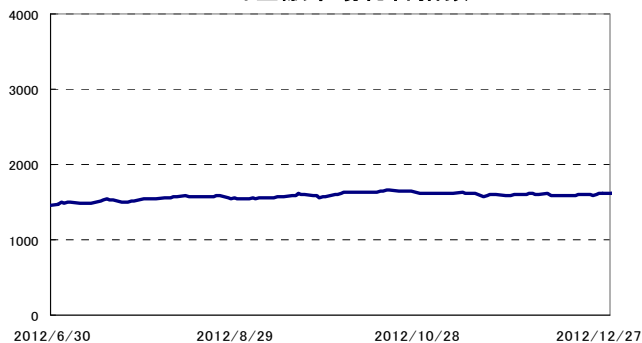


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

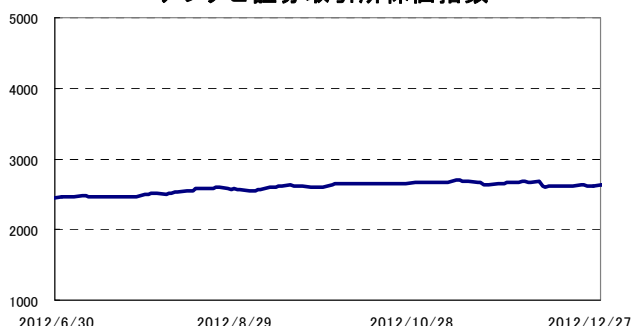


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

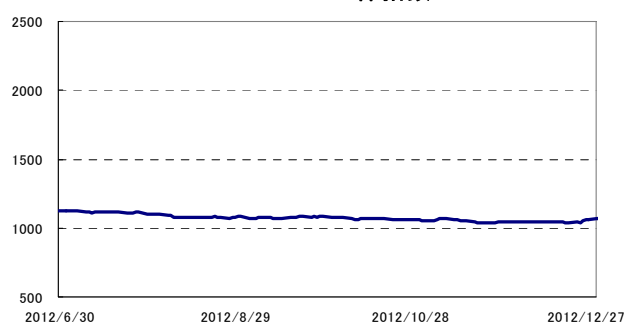
ドバイ金融市場総合指数



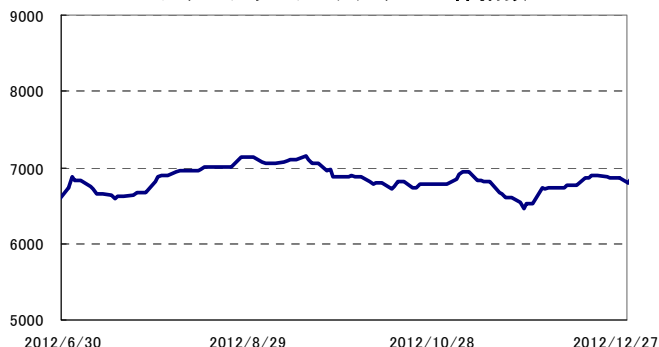
アブダビ証券取引所株価指数



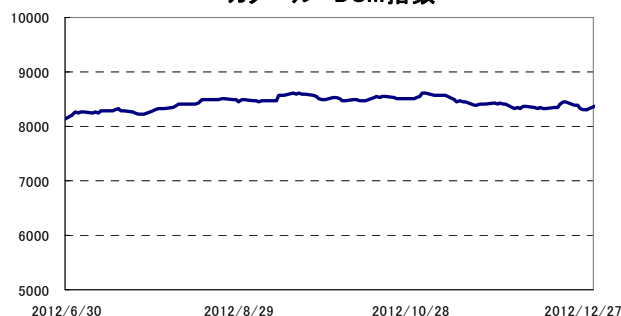
バーレーン全株指数



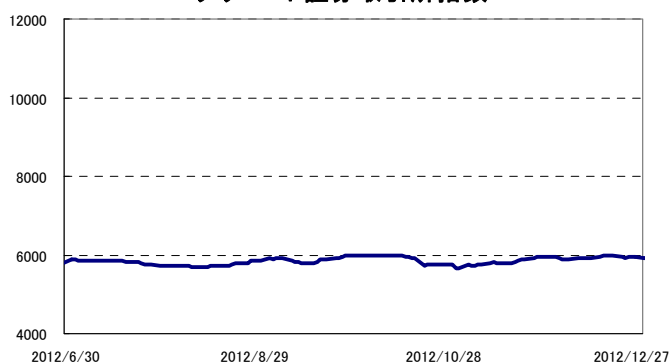
サウジアラビア タダウル全株指数



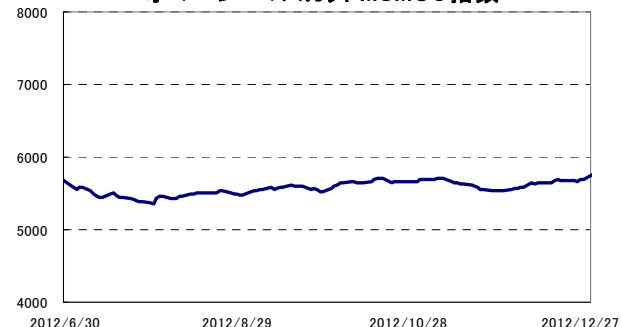
カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。